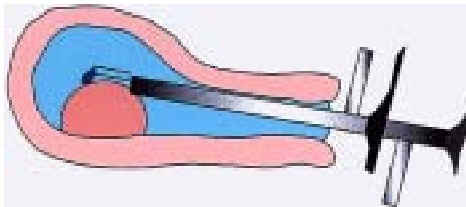




子宮鏡下手術を受けられる方へ

子宮鏡下手術とは

子宮鏡下手術とは、子宮の中にウロマチックという液体を入れ子宮を膨らませることによりスペースを作り、内膜ポリープや子宮筋腫の摘出を行う方法です。



子宮鏡下手術のシエーマ



実際手術の様子

子宮鏡下手術のメリットとデメリット

メリット

1. お腹に傷ができない。
2. 術後の痛みが軽い
3. 入院期間が短い（早く退院できる）

デメリット

手術中の予期できない出血や癒着のために腹腔鏡をしなければならぬことがあります（その可能性は約300例に1例です）。筋腫やポリープが大きな場合には、数回に分けて手術を行う場合があります。

腹腔鏡下手術の適応となる病気

1. 子宮内膜ポリープ
2. 子宮筋腫

など、子宮の内側に突出する病気が子宮鏡下手術の適応となります。

入院予約、手術までの待ち時間

外来担当医を通し入院予約を入退院係で行ってください。内視鏡下手術（腹腔鏡や子宮鏡による手術）は非常に混んでおり、入院予約から手術まで約4～6カ月かかります。この間、検査及びお薬・注射などの手術前の治療が行われる場合がありますので、外来担当医の指示に従ってください。手術の約1カ月前に術前検査（血液検査、レントゲン検査、心電図などで所要時間約2時間）を行います。

入院期間、費用

原則として入院期間は2泊3日（手術前日入院、術後翌日退院）です。ただし、病室の状況によっては手術の前々日の入院となる場合もあります。また、術後に出血や腹痛がある場合には退院がのびることもあります。

入院と手術はすべて健康保険の適用されます（個室使用料は除きます）。手術の方法により費用は異なりますがおおよそ25～40万円で、保険本人はその2割、家族は3割の自己負担となります。

入院後のスケジュール

入院	手術	術後1日目
問診、シャワー 夕食後子宮の出口 （子宮の出口を広げる 処置）	朝：浣腸、点滴 麻酔：全身麻酔	朝：採血、食事開始 膀胱のチューブを はずし、歩行開始 昼食後退院